

## 第2章 刈谷市の介護保険・高齢者福祉の状況

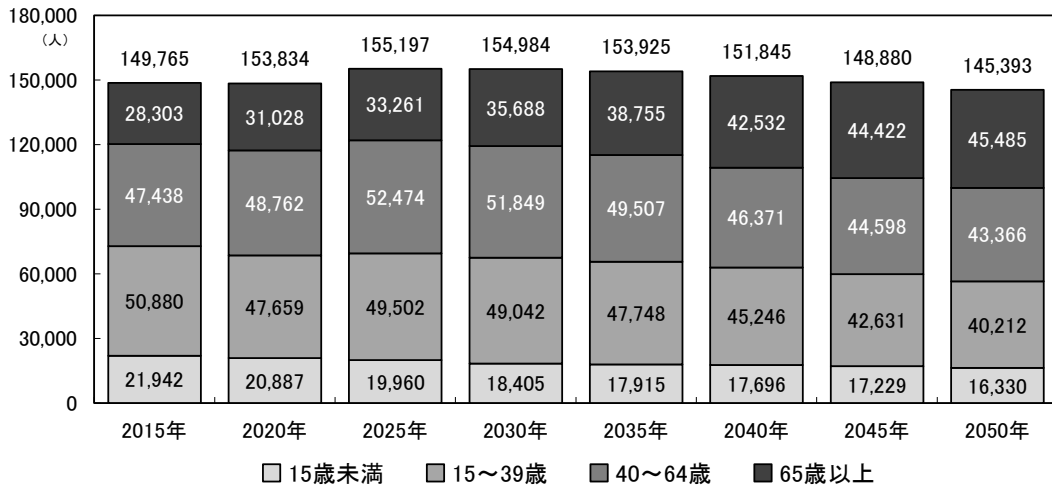
### 1 統計からみる高齢者の状況

・2025年度給付費及び地域支援事業費は決算額確定後、差替えを行います。  
・総務省(国勢調査)、厚生労働省又は国立社会保障・人口問題研究所が発表する情報に基づくデータは最新データ公開後、差替えを行います。

#### (1) 人口の状況

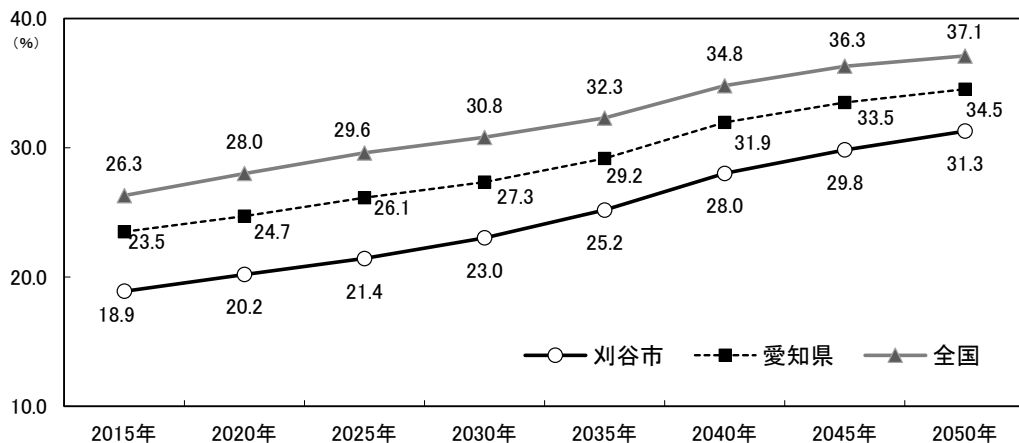
本市の人口は増加傾向にあります。国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、令和7年（2025年）をピークに減少に転じる見込みです。人口が減少局面に入ってから65歳以上の高齢者人口は継続して増加します。高齢化率は全国、愛知県と比較して低く推移していますが、継続して上昇し、特に令和7年（2025年）以降は増加率が高まることが見込まれます。なお、令和8年3月1日現在の住民基本台帳による人口は152,537人（高齢化率21.0%）となっています。

#### ■人口の推移と推計



※令和2年（2020年）までの総人口には「年齢不詳」が含まれるため、各年代区分別人口の合計と一致しません。  
資料：令和2年（2020年）までは「国勢調査」、令和7年（2025年）以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

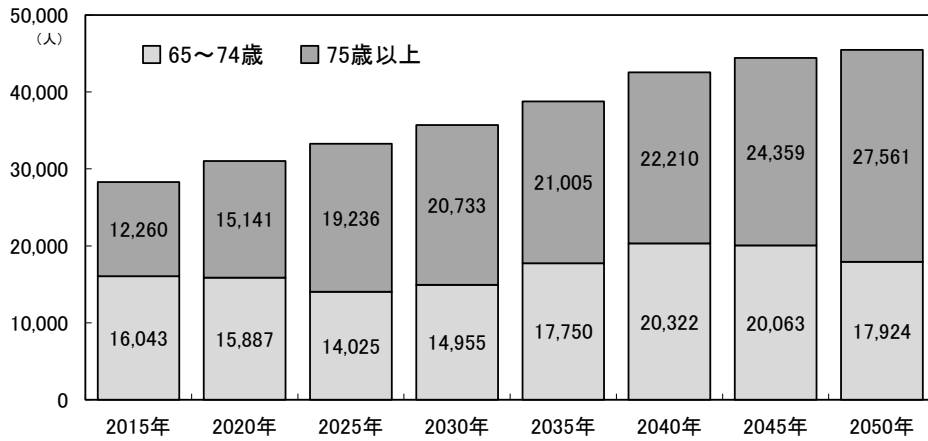
#### ■高齢化率の推移と推計



※高齢化率の算出には分母に年齢不詳人口を含みます。  
資料：令和2年（2020年）までは「国勢調査」、令和7年（2025年）以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

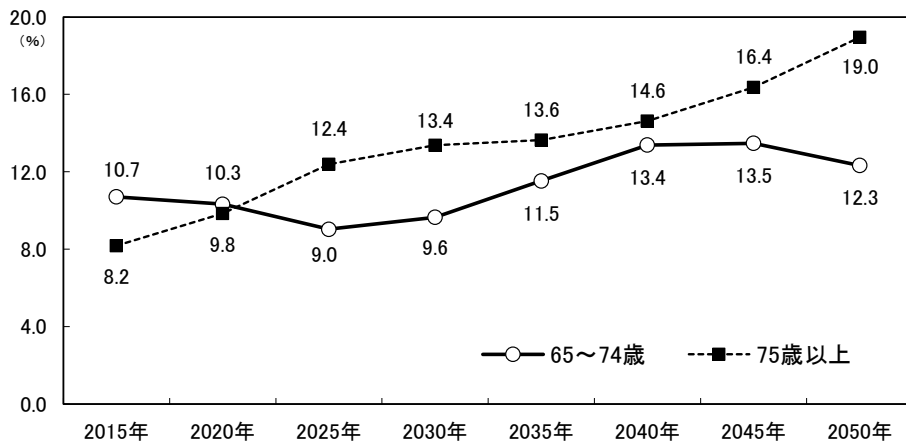
本市の高齢者人口を65～74歳の前期高齢者と75歳以上の後期高齢者に分けてみると、前期高齢者数は令和7年（2025年）から令和22年（2040年）にかけて継続して増加し、その後減少傾向となる見込みです。後期高齢者数は継続して増加し、総人口に占める割合は令和7年（2025年）から前期高齢者の割合を後期高齢者の割合が上回る見通しです。

■高齢者人口の推移と推計



資料：令和2年（2020年）までは「国勢調査」、令和7年（2025年）以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

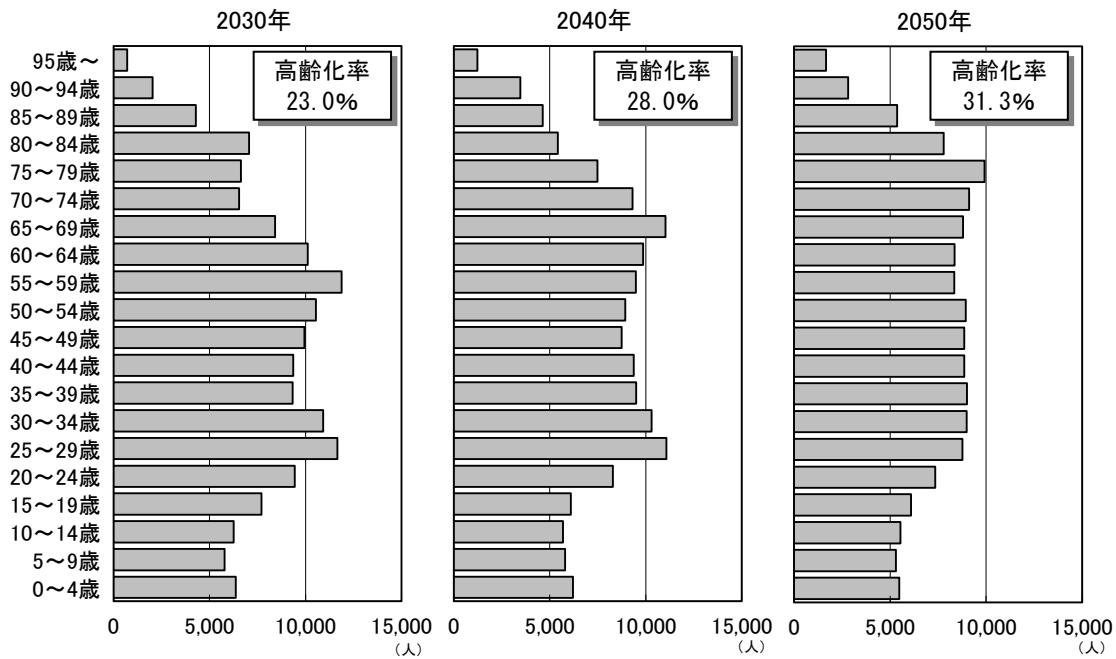
■高齢者人口割合の推移と推計



資料：令和2年（2020年）までは「国勢調査」、令和7年（2025年）以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

令和12年(2030年)と令和32年(2050年)の年齢別人口をみると、令和12年(2030年)に最も人口が多い55～59歳が令和32年(2050年)に75～79歳となり、高齢者人口の割合が大きくなることが予測されます。

■年齢別人口の推計

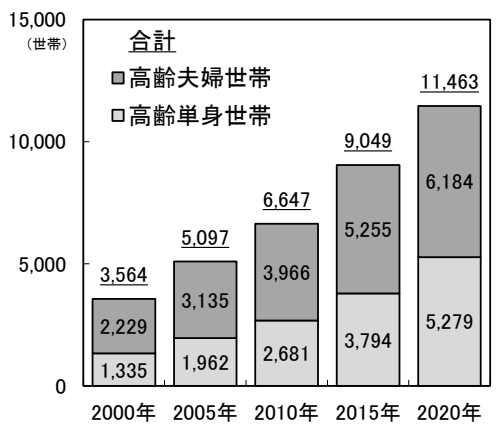


資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

(2) 世帯の状況

高齢者世帯数の推移をみると、高齢単身世帯(65歳以上の人1人のみの一般世帯)、高齢夫婦世帯(夫65歳以上妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯)ともに増加傾向にあります。全国、愛知県との比較をみると、本市では一般世帯に占める単独世帯の割合が高いものの、高齢単身世帯、高齢夫婦世帯の割合は比較的低くなっています。

■高齢者世帯数の推移



資料：令和2年(2020年)「国勢調査」

■世帯に関する全国、愛知県比較

区分	一般世帯に占める割合(%)			
	単独世帯	高齢単身世帯	高齢夫婦世帯	3世代世帯
全国	38.0	12.1	11.7	4.2
愛知県	36.3	10.0	10.9	4.5
刈谷市	39.6	7.8	9.1	3.3

資料：令和2年(2020年)「国勢調査」

単独世帯…世帯人員が1人の世帯

3世代世帯…世帯主との続柄が、祖父母、世帯主の父母(または世帯主の配偶者の父母)、世帯主(または世帯主の配偶者)、子(または子の配偶者)及び孫の直系世代のうち、3つ以上の世代が同居していることが判定可能な世帯であり、それ以外の世帯員がいるか否かは不問。4世代以上が住んでいる場合や、世帯主の父母、世帯主、孫のように子(中間の世代)がいない場合も含む。

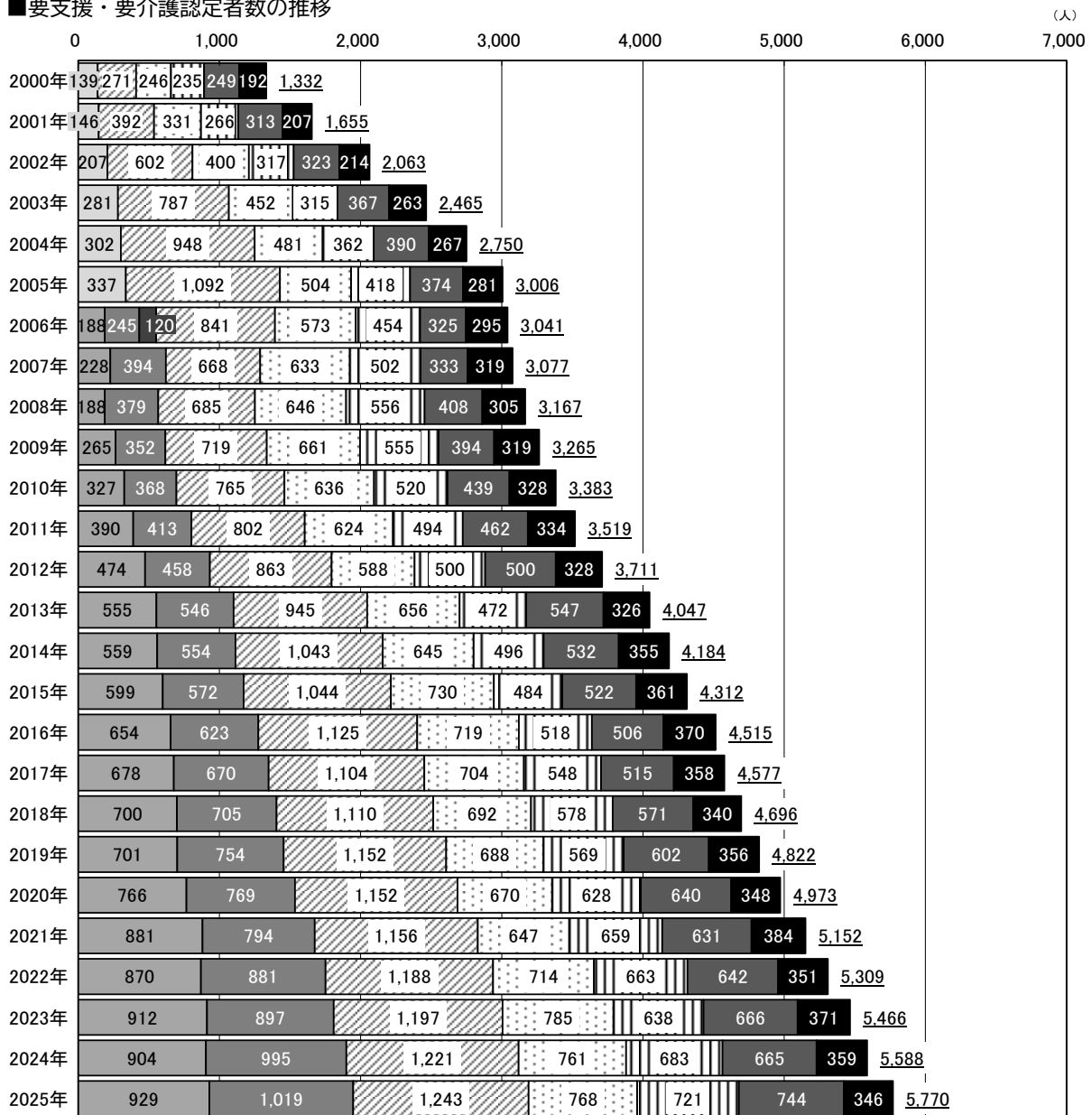
## 2 介護保険サービス等の利用状況

### (1) 要支援・要介護認定者の状況

令和7年（2025年）9月末時点の要支援・要介護認定者数は、5,770人です。介護保険制度が施行された平成12年（2000年）と比較して4,438人増加し、4.3倍となっています。制度の施行以降、毎年300人から400人程度の増加を続けていましたが、平成18年（2006年）の制度改正で、介護予防を大きな柱とした予防重視型システムへ転換したことにより増加が抑えられました。また、平成24年（2012年）からは、団塊の世代が65歳以上に到達したことなどから再び増加のペースが速まっています。

要支援・要介護認定区分別割合をみると、要支援者（要支援・経過的要介護を含む）は平成18年（2006年）に全体の18.2%でしたが、令和7年（2025年）には33.8%となっており、15.6ポイント増となっています。

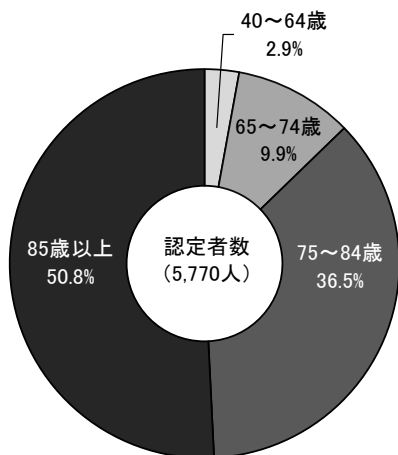
■要支援・要介護認定者数の推移



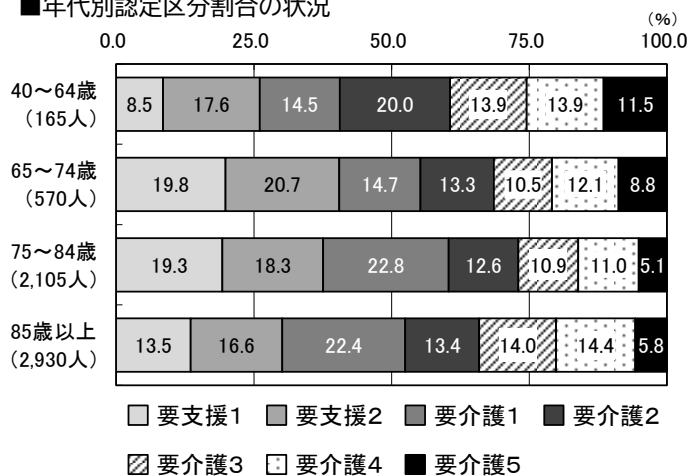
□ 要支援 □ 要支援1 □ 要支援2 ■ 要支援・経過的要介護 □ 要介護1 □ 要介護2 □ 要介護3 □ 要介護4 ■ 要介護5 合計  
資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告（各年9月月報）」

年代別認定者割合をみると、全体の50.8%が85歳以上となっています。また、年代別認定区分割合の状況をみると、65～84歳で要支援1、2の割合が高く、75歳以上で、要介護1の割合が高くなっています。

■年代別認定者割合



■年代別認定区分割合の状況

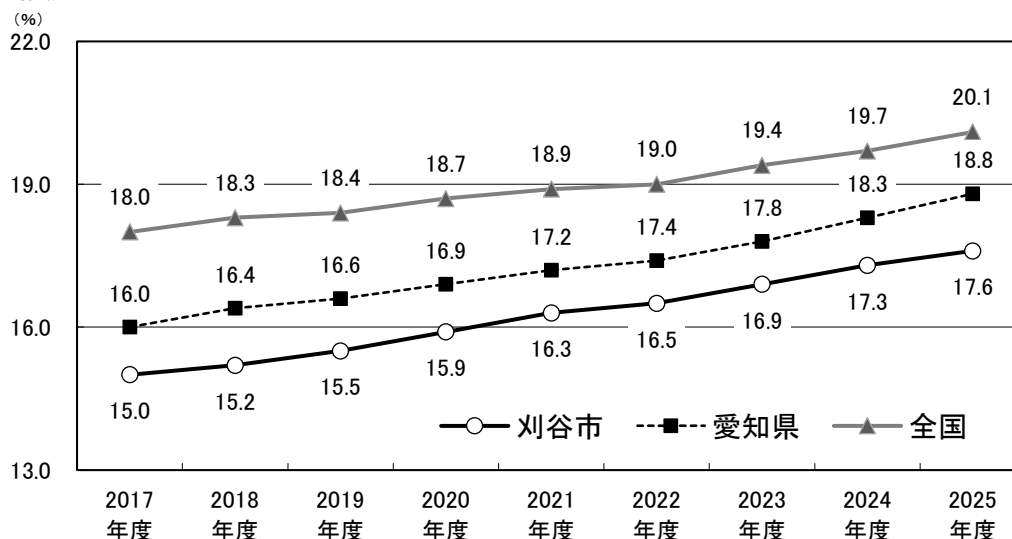


資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告（令和7年（2025年）9月月報）」

## （2）認定率の状況

本市の認定率（65歳以上の高齢者に占める要支援・要介護認定者の割合）は近年15～17%台で推移しています。全国、愛知県と比較しても認定率は低い状況ですが、全国、愛知県と同様に増加傾向となっています。

■認定率の推移



資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和6年度（2024年度）は「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和7年度（2025年度）は令和7年（2025年）11月分時点。

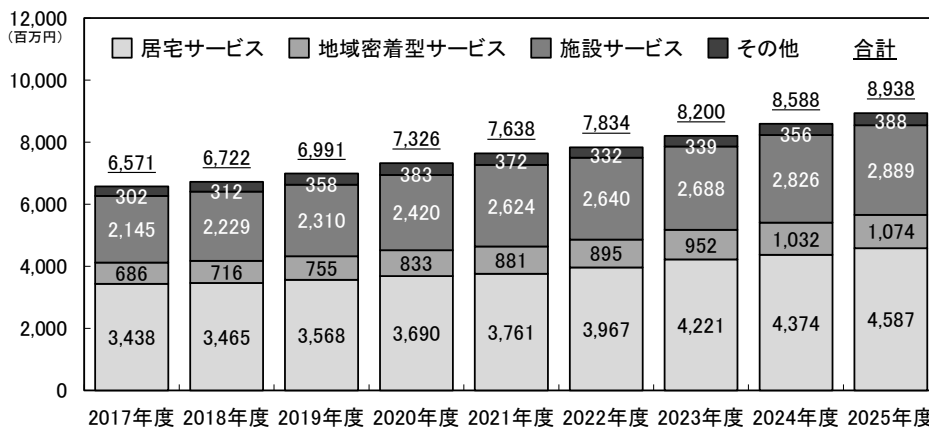
### (3) 介護保険サービスの利用状況

#### ① サービス給付費の状況

本市のサービス給付費の推移をみると、いずれのサービスも増加傾向にあります。全体に占める各サービスの割合は、令和7年度（2025年度）で居宅サービスが51.3%、地域密着型サービスが12.0%、施設サービスが32.3%、その他が4.3%となっています。

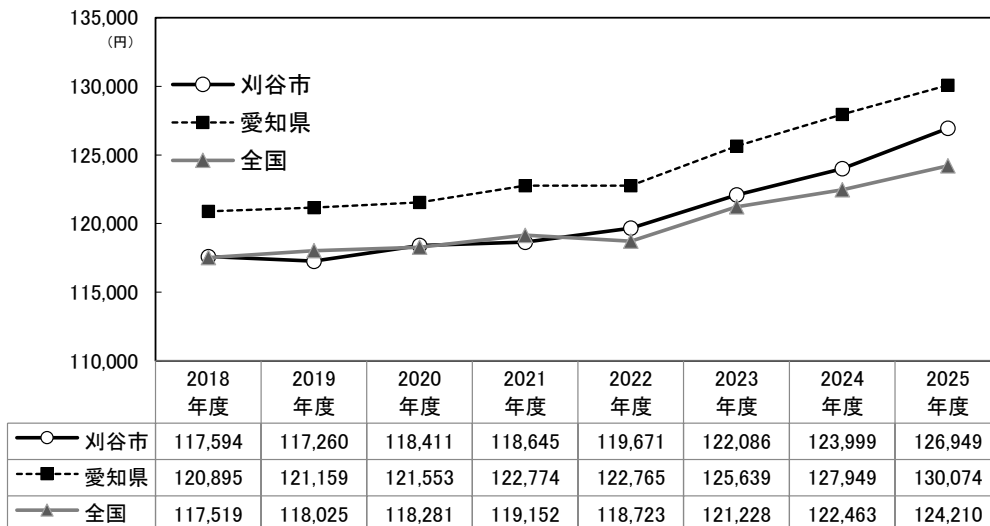
受給者1人あたり給付月額をみると、本市の居宅サービスは令和2年度（2020年度）以降増加傾向にあり、全国と同程度の傾向で推移していたものの令和4年度（2022年度）以降は全国を上回っています。なお、平成29年度（2017年度）以降、愛知県は下回って推移しています。

#### ■各サービスの給付費の推移



資料：令和5年度（2023年度）までは厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和6年度（2024年度）以降は刈谷市長寿課  
 ＊本グラフ中の「その他」は、特定入所者介護サービス費等給付額、高額介護サービス費等給付額、高額医療合算介護サービス費等給付額、審査支払手数料の合計を意味します。

#### ■受給者1人あたり給付月額の推移（居宅サービス＊）



資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和6年度（2024年度）は「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和7年度（2025年度）は令和7年（2025年）11月分時点。

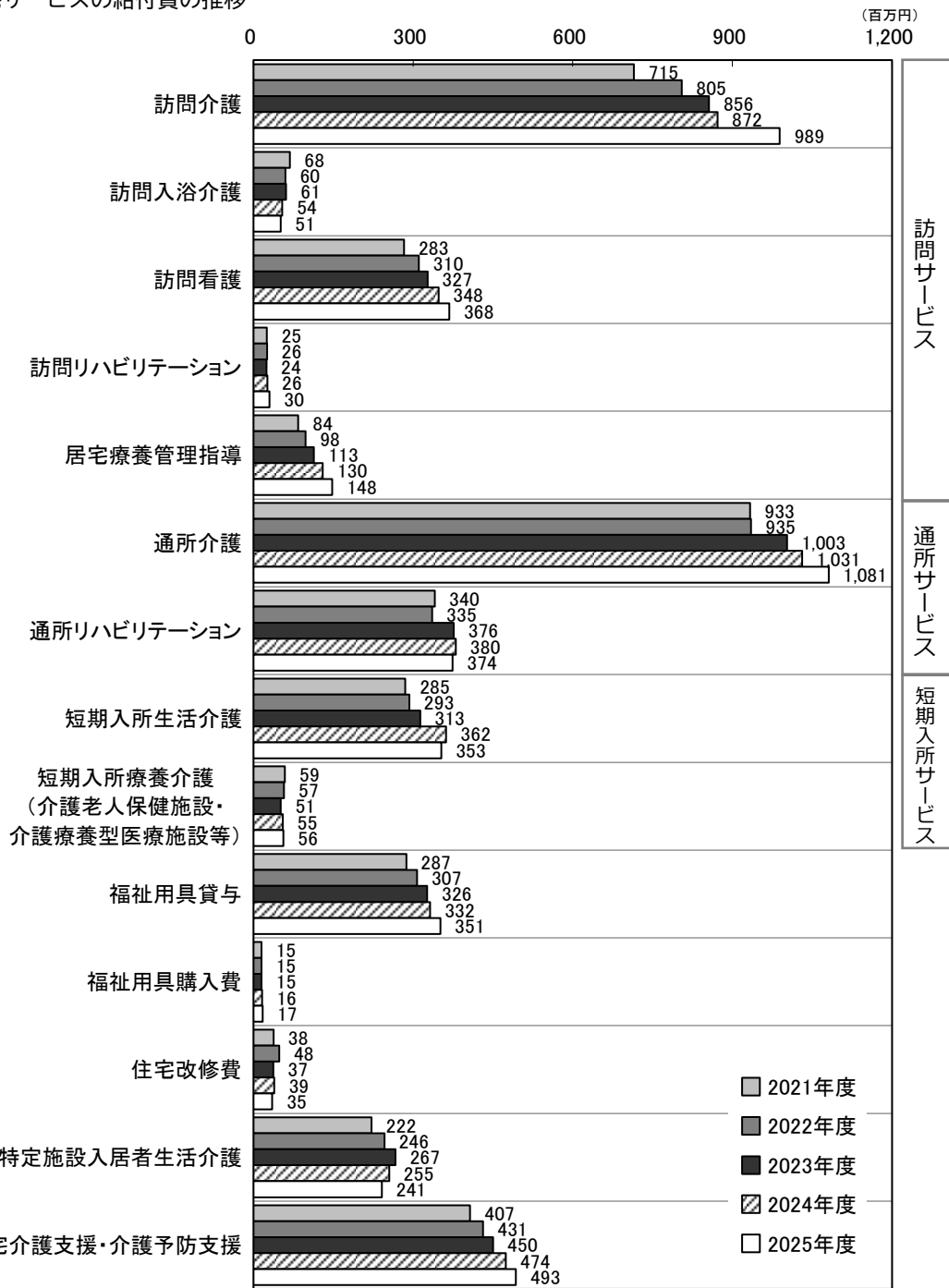
＊本グラフ中の「居宅サービス」は以下のサービスを意味します。

訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護（介護老人保健施設）、短期入所療養介護（介護療養型医療施設等）、短期入所療養介護（介護医療院）、福祉用具貸与、福祉用具購入費、住宅改修費、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護

## ②各サービスの利用状況

居宅サービスの給付費は「通所介護」が最も多くなっており、次いで多くなっている「訪問介護」と合わせた居宅サービスの給付費全体に占める割合は、令和7年度（2025年度）で45.1%となっています。令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）にかけて増加率が高いサービスは、「居宅療養管理指導」「訪問介護」「訪問看護」「短期入所生活介護」「福祉用具貸与」「居宅介護支援・介護予防支援」となっています。

■居宅サービスの給付費の推移

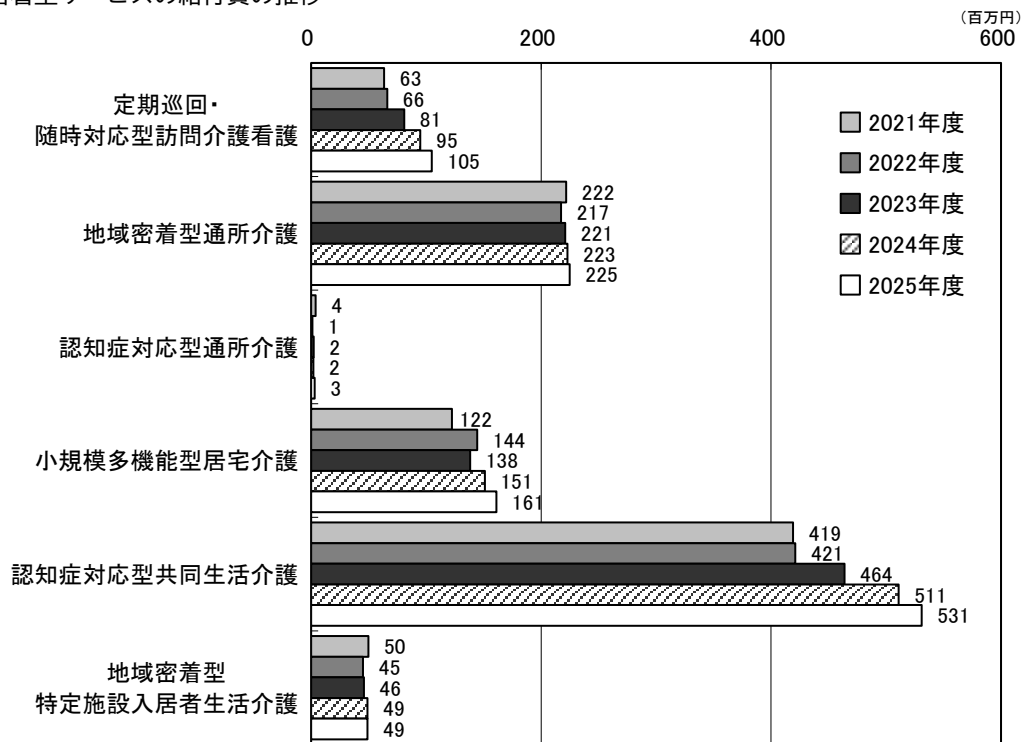


資料：令和5年度（2023年度）までは厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和6年度（2024年度）以降は刈谷市長寿課

地域密着型サービスの給付費は、「認知症対応型共同生活介護」が最も多くなっています。令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）にかけて増加率が高いサービスは、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「小規模多機能型居宅介護」「認知症対応型共同生活介護」となっています。

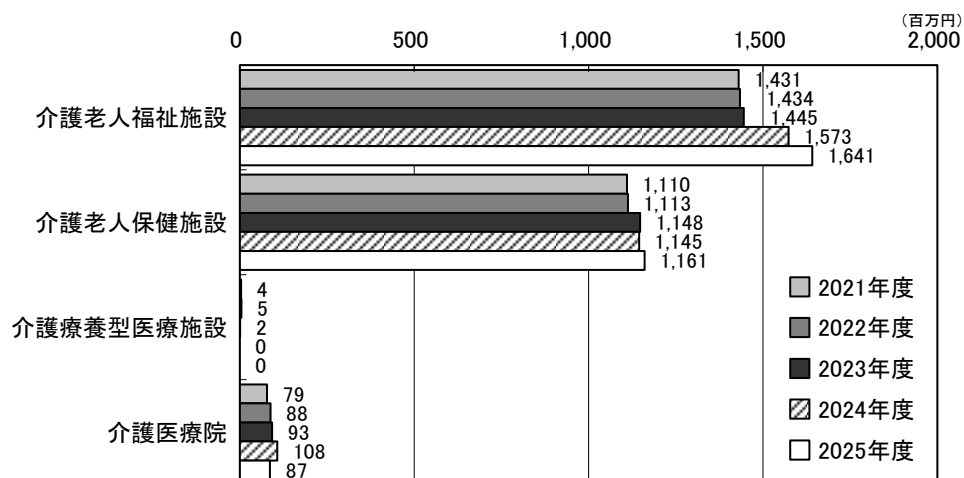
施設サービスの給付費は、「介護老人福祉施設」が令和7年度（2025年度）で16億円を超えており、施設整備に伴い増加しています。

■地域密着型サービスの給付費の推移



資料：令和5年度（2023年度）までは厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和6年度（2024年度）以降は刈谷市長寿課

■施設サービスの給付費の推移



資料：令和5年度（2023年度）までは厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和6年度（2024年度）以降は刈谷市長寿課

### ③介護保険サービスの年度実績と第9期計画値との比較

介護給付費は、「認知症対応型通所介護」が計画値を大きく上回っており、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「短期入所生活介護」「介護老人福祉施設」「訪問リハビリテーション」等も計画値を上回っています。全体では、2025年度で実績値が計画値の103.1%と、上回っています。

■介護給付費の年度実績と対計画比（網掛けは対計画比が100%を超えるものを指します。）

サービス名		2024年度			2025年度		
		計画値 (千円)	実績値 (千円)	対計画比 (%)	計画値 (千円)	実績値 (千円)	対計画比 (%)
居宅サービス	訪問介護	846,225	871,902	103.0	911,231	988,840	108.5
	訪問入浴介護	54,852	53,613	97.7	58,205	50,645	87.0
	訪問看護	335,776	300,590	89.5	359,310	318,391	88.6
	訪問リハビリテーション	21,151	20,381	96.4	22,338	24,748	110.8
	居宅療養管理指導	120,845	122,415	101.3	128,271	139,249	108.6
	通所介護	980,746	1,031,348	105.2	996,309	1,081,376	108.5
	通所リハビリテーション	323,279	323,215	100.0	334,989	315,038	94.0
	短期入所生活介護	285,909	355,876	124.5	311,112	347,271	111.6
	短期入所療養介護	60,955	54,466	89.4	62,878	55,480	88.2
	福祉用具貸与	266,691	263,105	98.7	283,437	276,722	97.6
	特定福祉用具販売	12,719	11,307	88.9	12,751	12,080	94.7
	住宅改修	22,050	20,447	92.7	23,538	19,898	84.5
	特定施設入居者生活介護	237,776	236,045	99.3	245,445	219,169	89.3
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	74,091	95,471	128.9	78,704	104,612	132.9
	夜間対応型訪問介護	0	0	-	0	0	-
	地域密着型通所介護	227,609	223,453	98.2	230,433	224,809	97.6
	認知症対応型通所介護	772	2,294	297.2	773	2,795	361.6
	小規模多機能型居宅介護	137,519	142,345	103.5	139,321	152,209	109.3
	認知症対応型共同生活介護	513,847	509,650	99.2	531,394	527,183	99.2
	地域密着型特定施設入居者生活介護	47,439	48,860	103.0	47,499	49,446	104.1
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0	-	0	0	-
	看護小規模多機能型居宅介護	0	0	-	0	0	-
	複合型サービス※	0	0	-	0	0	-
施設サービス	介護老人福祉施設	1,465,365	1,573,100	107.4	1,477,231	1,640,520	111.1
	介護老人保健施設	1,194,405	1,145,058	95.9	1,195,917	1,161,456	97.1
	介護医療院	86,178	108,403	125.8	86,287	87,373	101.3
	居宅介護支援	433,800	418,135	96.4	450,374	436,180	96.8
介護給付費 合計		7,749,999	7,931,479	102.3	7,987,747	8,235,490	103.1

※通所介護事業所、訪問介護事業所がそれぞれ相互のサービスを組み合わせて提供する介護保険サービス

予防給付費は、「介護予防訪問リハビリテーション」「特定介護予防福祉用具販売」「介護予防居宅療養管理指導」で計画値を大きく上回っており、全体では、2025年度で実績値が計画値の111.7%と、上回っています。

標準給付費は、「特定入所者介護サービス費等給付額」「高額介護サービス費等給付額」を除く項目で計画値を上回っており、特に「高額医療合算介護サービス費等給付額」において2025年度の実績値は計画値の137.7%と、大きく上回っています。

■予防給付費の年度実績と対計画比

サービス名		2024年度			2025年度		
		計画値 (千円)	実績値 (千円)	対計画比 (%)	計画値 (千円)	実績値 (千円)	対計画比 (%)
居宅サービス	介護予防訪問入浴介護	553	0	0.0	553	0	0.0
	介護予防訪問看護	47,392	47,740	100.7	48,388	49,680	102.7
	介護予防訪問リハビリテーション	3,193	5,235	164.0	3,197	5,647	176.6
	介護予防居宅療養管理指導	5,495	7,371	134.1	5,747	8,562	149.0
	介護予防通所リハビリテーション	56,601	56,954	100.6	57,164	58,661	102.6
	介護予防短期入所生活介護	4,815	5,909	122.7	5,682	5,813	102.3
	介護予防短期入所療養介護	376	916	243.6	377	308	81.7
	介護予防福祉用具貸与	55,699	68,734	123.4	55,433	74,243	133.9
	特定介護予防福祉用具販売	3,205	4,856	151.5	3,205	4,900	152.9
	介護予防住宅改修	18,922	18,594	98.3	18,922	15,176	80.2
	介護予防特定施設入居者生活介護	15,963	19,074	119.5	16,694	21,337	127.8
地域密着型サービス	介護予防認知症対応型通所介護	0	0	-	0	0	-
	介護予防小規模多機能型居宅介護	8,629	8,453	98.0	9,219	8,795	95.4
	介護予防認知症対応型共同生活介護	3,108	1,561	50.2	3,112	3,914	125.8
介護予防支援		52,334	55,565	106.2	53,380	57,012	106.8
予防給付費 合計		276,285	300,962	108.9	281,073	314,048	111.7

※網掛けは対計画比が100%を超えるものを指します。

■標準給付費の年度実績と対計画比

区分	2024年度			2025年度		
	計画値 (千円)	実績値 (千円)	対計画比 (%)	計画値 (千円)	実績値 (千円)	対計画比 (%)
総給付費	8,026,284	8,232,439	102.6	8,268,820	8,549,541	103.4
特定入所者介護サービス費等給付額	146,723	105,377	71.8	151,603	106,450	70.2
高額介護サービス費等給付額	231,374	211,155	91.3	239,106	237,741	99.4
高額医療合算介護サービス費等給付額	27,426	34,168	124.6	28,303	38,987	137.7
審査支払手数料	4,687	4,949	105.6	4,837	5,179	107.1
標準給付費 合計	8,436,494	8,588,088	101.8	8,692,669	8,937,898	102.8

※網掛けは対計画比が100%を超えるものを指します。

地域支援事業費は、全体で計画値を上回っており、「包括的支援事業・任意事業」が計画値を大きく上回っています。

■地域支援事業費の年度実績と対計画比

サービス名	2024年度			2025年度		
	計画値 (千円)	実績値 (千円)	対計画比 (%)	計画値 (千円)	実績値 (千円)	対計画比 (%)
介護予防・日常生活支援総合事業	297,751	382,820	128.6	313,909	378,103	120.4
包括的支援事業・任意事業	231,079	306,526	132.6	234,339	341,545	145.7
地域支援事業費 合計	528,830	689,346	130.4	571,016	719,648	126.0

※網掛けは対計画比が100%を超えるものを指します。

## (4) 地域支援事業・高齢者福祉サービスの利用状況

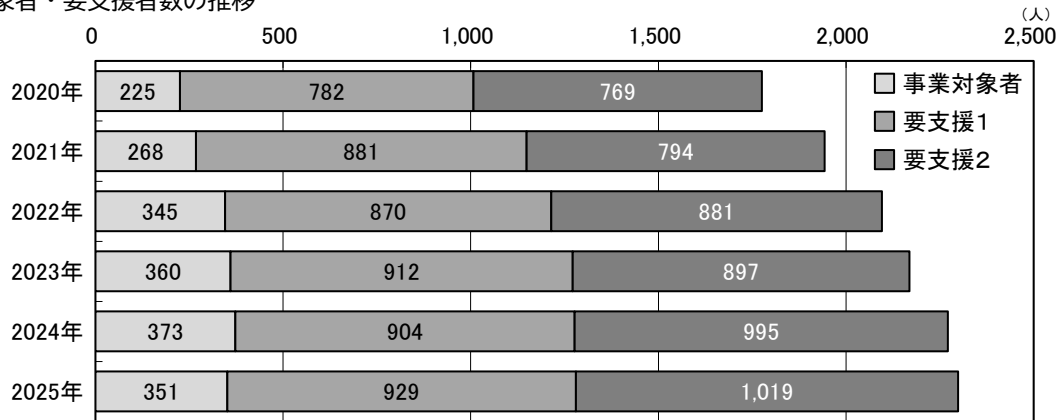
### 【地域支援事業】

地域支援事業は、要支援・要介護状態になることを予防し、介護が必要となった場合でも、可能な限り、地域で自立した日常生活を営むことができるよう市町村が行う事業です。地域支援事業のうち、介護予防・生活支援サービス事業は、基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた事業対象者と要支援1、2の人に対し実施しています。

事業対象者、要支援1、2についてみると、いずれも令和2年（2020年）以降、増加しています。

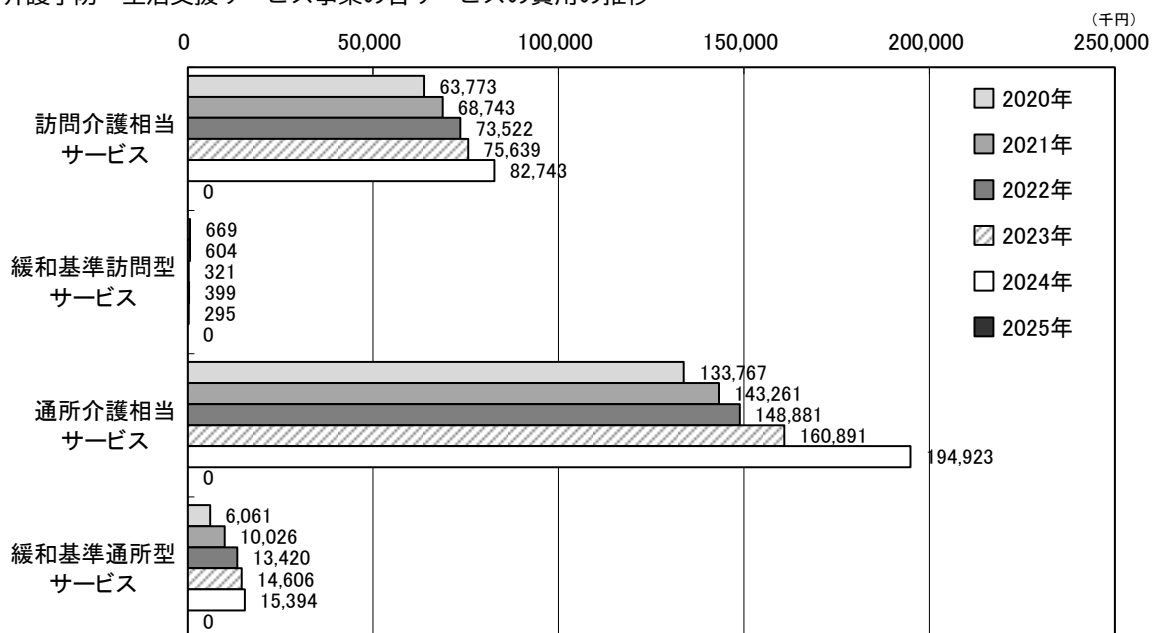
平成29年度（2017年度）から開始した介護予防・生活支援サービス事業の各サービスの費用についてみると、「訪問介護相当サービス」「通所介護相当サービス」「緩和基準通所型サービス」で令和2年度（2020年度）以降、増加しています。

#### ■事業対象者・要支援者数の推移



資料：刈谷市長寿課（各年10月1日時点）

#### ■介護予防・生活支援サービス事業の各サービスの費用の推移



資料：刈谷市長寿課

## 【介護予防・一般介護予防事業】

### ①通所型介護予防事業

要介護状態になるおそれの高い高齢者を対象に、通所による介護予防事業を実施しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
筋力向上トレーニング事業	86人	94人	84人	71人	42人
口腔機能向上事業	54人	63人	87人	77人	79人

※参加者数

### ②介護予防訪問事業

心身の状況等により通所による事業への参加が困難な人を対象に、管理栄養士が自宅に訪問し、低栄養状態の予防・改善等の相談・指導を短期間で行うほか、必要な事業等につなげています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
申込者数	5人	5人	11人	2人	6人

### ③介護予防普及啓発事業

すべての高齢者を対象に、生活機能の維持や向上に向けた取組として、介護予防の基本的な知識の普及・啓発を図るための教室等を開催しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
男性のための栄養教室	99人	118人	127人	113人	109人
65歳からのやさしい栄養教室	32人	23人	17人	24人	22人
エンジョイ教室	15,953人	19,758人	25,098人	28,183人	33,982人

※「男性のための栄養教室」と「エンジョイ教室」は延べ参加者数、「65歳からのやさしい栄養教室」は参加者数

### ④地域介護予防活動支援事業

すべての高齢者を対象に、生活習慣病の予防や改善、閉じこもり予防や転倒予防に関する啓発を図るため、地域ごとに教室等を開催しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
健康いちばん教室	192人	369人	342人	350人	303人

※延べ参加者数

## 【在宅高齢者福祉サービス】

### ①在宅高齢者見守り安心機器貸与

急病その他の緊急時に通報することのできる機器（認知症によりはいかい症状がある高齢者の家族に貸与する機器は、位置情報を確認できるGPS機能付）と屋内に設置するセンサーを貸与しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
利用者数	-	560人	586人	600人	609人
利用者数(GPS機能付)	-	17人	15人	19人	23人

※各年度末時点利用者数

### ②福祉電話（声の訪問）

ひとり暮らし高齢者の安否確認のため、電話による定期的な声の訪問を行っています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
声の訪問	43人	49人	44人	41人	48人

※利用者数

### ③救急医療情報キット

ひとり暮らし高齢者等を対象に、緊急時や災害等に備えて、医療情報や連絡先等の情報を保管するキットを配付しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
配付人数	143人	132人	175人	197人	323人

### ④日常生活用具の給付

ひとり暮らし高齢者等が安全に安心して生活できるよう、自宅に火災警報器等の日常生活用具を給付しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
給付人数	15人	27人	8人	10人	14人

### ⑤家具転倒防止器具取付

高齢者のみの世帯等を対象に、家具転倒防止器具の取付けを代行し、災害時の家具転倒事故を防止しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
取付世帯数	4世帯	5世帯	9世帯	17世帯	4世帯

## ⑥配食サービス（一般食、調整食）

見守りが必要で食事の仕度が困難な高齢者を対象に、定期的に自宅に食事を届けるとともに安否確認を行っています。また、病気療養目的などで食事に配慮が必要な高齢者の自宅に主治医などの指示による食事を届けるとともに、安否確認と定期的な栄養相談を行っています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
一般食	451人	495人	540人	578人	561人
調整食	82人	79人	71人	85人	77人

## ⑦在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金

在宅のねたきりまたは認知症高齢者を対象に、見舞金を支給しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
受給者数	814人	835人	886人	981人	942人

※各年度後期受給者数

## ⑧在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成

在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金受給者で常時おむつを必要とする人を対象に、おむつ費用助成利用券を交付しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
交付人数	713人	739人	778人	787人	864人

※各年度後期交付人数

## ⑨寝具クリーニング

ねたきりまたは認知症高齢者を対象に、寝具クリーニングを実施しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
利用者数	28人	20人	21人	33人	28人

## ⑩高齢者タクシー料金助成（高齢者タクシー、介護タクシー）

移動に関して電車やバス等を利用することが困難な高齢者の外出を支援するため、高齢者タクシー料金助成利用券を交付しています。また、通常の自家用車を利用することが困難な高齢者の通院等を支援するため、車いす昇降機やストレッチャーを装備した車両を利用する場合の介護タクシー料金助成利用券を交付しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
高齢者タクシー	249人	266人	298人	323人	366人
介護タクシー	398人	470人	548人	611人	653人

※延べ交付人数

### ⑪シヨートステイ

在宅において生活するのに不安のある高齢者を一時的に養護老人ホームで支援しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
利用者数	4人	8人	17人	16人	18人

### ⑫出張理美容費助成

外出が困難な在宅のねたきり高齢者を対象に、出張理美容費の助成券を交付しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
交付人数	90人	92人	90人	87人	97人

### ⑬あつまりん（生きがい活動支援通所事業）

ボランティアが中心となったミニデイサービスで、昼食の提供やレクリエーションを行っています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
延実施日数	119日	160日	140日	153日	155日
延参加者数	749人	1,048人	929人	1,138人	1,440人

## 【生活環境の改善の支援】

### ①住宅改善費補助

要支援・要介護認定者が自宅の住宅改修を行う場合に、介護保険の給付対象を超えた改修費用の一部を補助しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
補助人数	156人	204人	158人	155人	149人

### ②高齢者住宅バリアフリー化工事費補助

要支援・要介護認定を受けていない高齢者を対象に、自宅のバリアフリー化工事にかかった費用の一部を補助しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
補助人数	43人	89人	67人	68人	56人

### ③介護支援ベッド貸与利用料補助

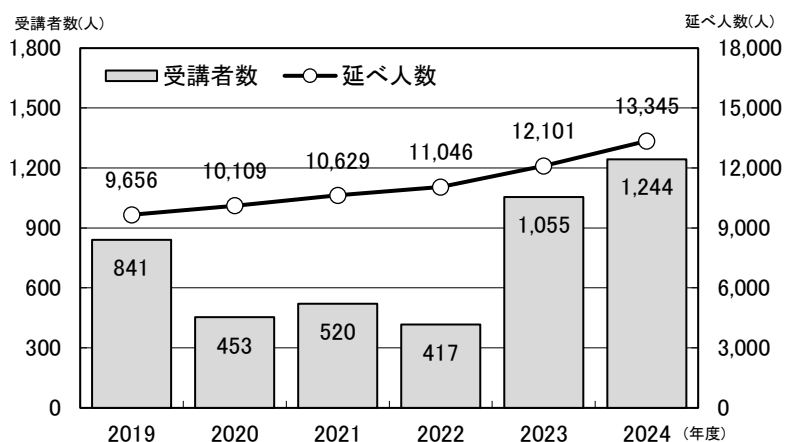
要支援1、2、要介護1の認定を受け、寝具からの立ち上がりが困難な人が介護支援ベッドを借りた場合に、利用料の一部を補助しています。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
補助人数	173人	167人	168人	172人	165人

## 【認知症サポーター養成講座受講者数】

毎年、講座を継続して実施することにより、累計人数は増加しています。また、令和5年度（2023年度）には受講者数が1,000人を超えています。

### ■認知症サポーター養成講座受講者数（延べ人数）



資料：刈谷市長寿課（各年3月31日時点）

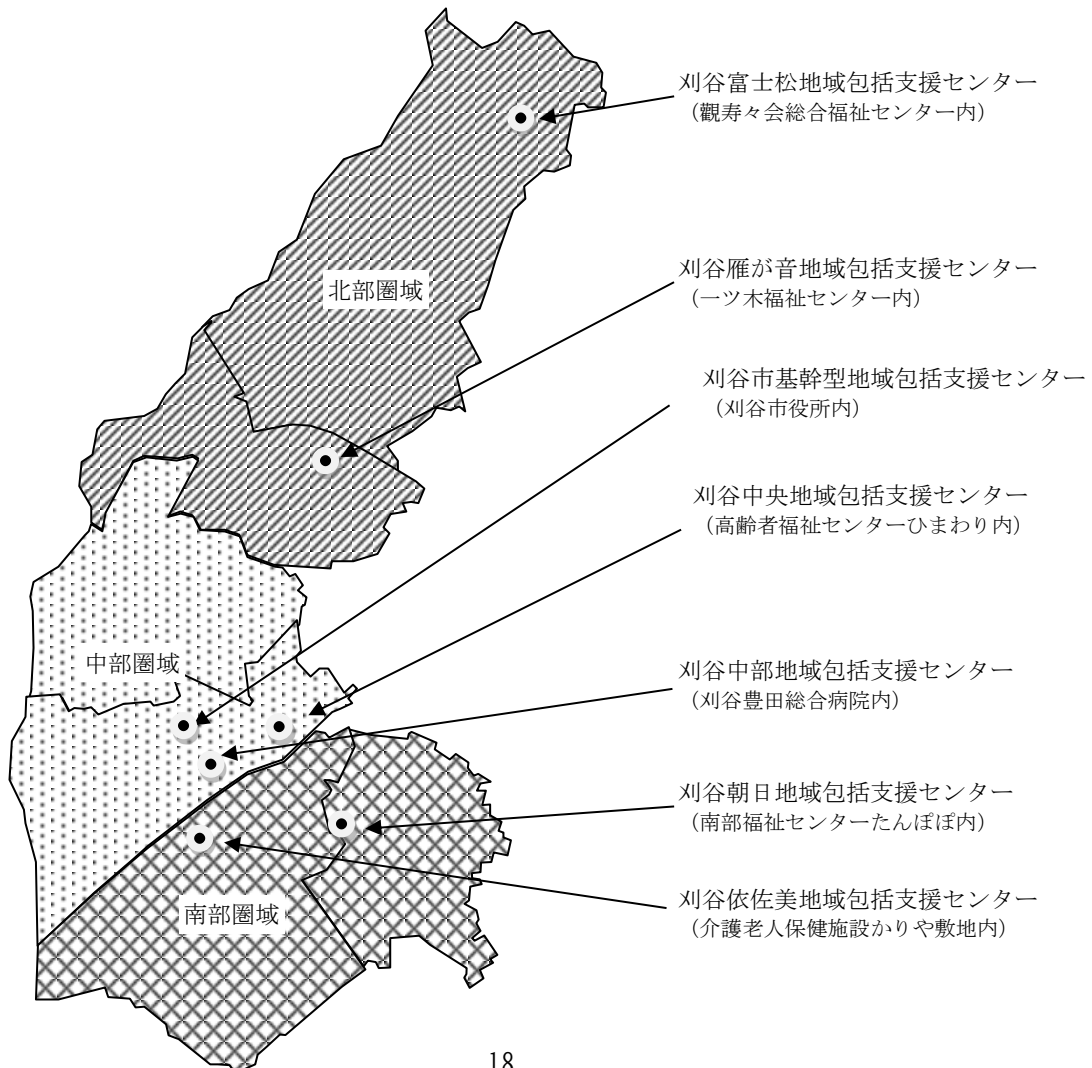
### 3 日常生活圏域の状況

本市では、第3期介護保険事業計画以降、市内を2中学校区ごとに北部、中部、南部に分け、「日常生活圏域」としています。

また、地域包括支援センターの運営を適切かつ効率的に実施できる環境を構築し、高齢者福祉の充実を図るため、令和4年度（2022年度）に刈谷市基幹型地域包括支援センターを社会福祉協議会内に新設し、令和5年度（2023年度）からは市役所で運営を開始しています。主な業務としては、各地域包括支援センターの総合調整・後方支援、処遇困難・虐待事例の後方支援等を行っています。

#### ■日常生活圏域及び地域包括支援センター

日常生活圏域名	中学校区	地域包括支援センター
北部圏域	富士松・雁が音	刈谷富士松地域包括支援センター 刈谷雁が音地域包括支援センター
中部圏域	刈谷南・刈谷東	刈谷中央地域包括支援センター 刈谷中部地域包括支援センター
南部圏域	依佐美・朝日	刈谷依佐美地域包括支援センター 刈谷朝日地域包括支援センター
市内全域	市内全域	刈谷市基幹型地域包括支援センター



## (1) 北部圏域（富士松・雁が音）

### ■圏域の状況

項目	北部圏域					市全域割合との差		
	各年 10月1日現在	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	
人口		50,802	50,855	51,044	51,103	51,060	-	
65歳以上人口		10,480	10,549	10,512	10,654	10,719	-	
高齢化率		20.6	20.7	20.6	20.8	21.0	±0(2025年時点)	
要介護等認定者	1,928人（認定率 18.0%）						+0.4(認定率)	
令和8年3月31日現在	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	市全域割合との差
認定者（人）	335	328	434	263	237	221	110	-
市全域の割合との差	+1.7	-1.7	+0.2	-0.5	+0.6	-0.4	±0.0	-
認知症高齢者（令和8年3月31日現在）	1,195人（11.1%）						+1.1	

※認定率は、認定者数（令和8年3月31日現在）÷高齢者数（令和7年10月1日現在）で算出しています。また、認定者、認知症高齢者には第2号被保険者が含まれます。そのため、認定率、認知症の割合、各数値の市全域割合との差は、参考値です。

### ■圏域の地域資源の状況（令和8年（2026年）4月1日現在）

（単位：か所、カッコ内は定員数）

項目	北部圏域			項目	北部圏域		
		富士松	雁が音			富士松	雁が音
●居宅サービス	31	19	12	●地域密着型サービス	9	8	1
訪問介護	7	5	2	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0	0
訪問入浴介護	0	0	0	地域密着型通所介護	5	5	0
訪問看護	4	2	2	認知症対応型通所介護	0	0	0
訪問リハビリテーション	0	0	0	小規模多機能型居宅介護	1	1	0
通所介護	9	5	4	認知症対応型共同生活介護	3 (54)	2 (36)	1 (18)
通所リハビリテーション	1	0	1	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0
短期入所生活介護	4	4	0	●施設サービス	4	3	1
短期入所療養介護	1	0	1	介護老人福祉施設	3 (310)	3 (310)	0
特定施設入居者生活介護	1 (70)	1 (70)	0	介護老人保健施設	1 (146)	0	1 (146)
福祉用具貸与	2	1	1	●サービス付き高齢者向け住宅	0	0	0
特定福祉用具販売	2	1	1	●地域の高齢者サロン	43	29	14
●居宅介護支援	6	3	3	●地域包括支援センター	2	1	1
●介護予防支援	2	1	1				
●住宅型有料老人ホーム	5 (107)	3 (66)	2 (41)				

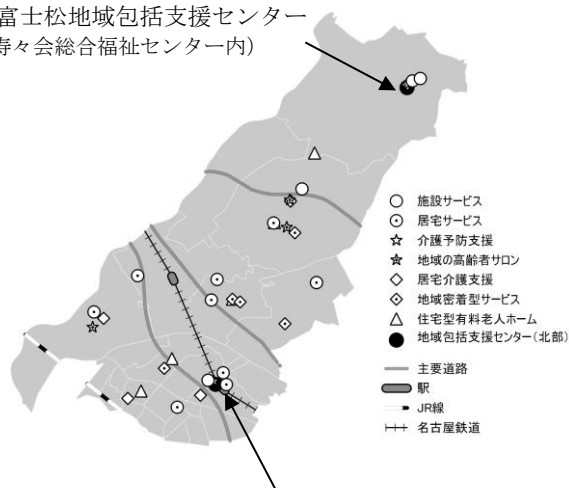
■圏域の特徴

北部圏域では、増加傾向にあった人口が令和7年(2025年)でわずかに減少しています。他の圏域と比較して、高齢者に占める認知症の割合が最も高くなっています。

地域資源は介護老人福祉施設が富士松中学校区に3事業所あり、他の圏域と比べて施設サービスが充実しています。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果によると、町内会・自治会や祭り・行事への参加割合が市全域と比べて高くなっており、他の圏域より地域活動が活発であることがうかがえます。

刈谷富士松地域包括支援センター  
(観寿々会総合福祉センター内)



刈谷雁が音地域包括支援センター  
(一ツ木福祉センター内)

■圏域別介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

指標等項目	調査結果	市全域との差
<b>●高齢者像からみた地域分析</b>		
運動器機能の低下リスク該当者	15.3%	+2.4
転倒リスク該当者	32.5%	+0.1
閉じこもりリスク該当者	12.7%	+0.9
低栄養リスク該当者	0.6%	-1.1
口腔機能低下リスク該当者	23.4%	+0.4
物忘れリスク該当者	42.1%	+0.3
うつ傾向リスク該当者	35.9%	+0.3
IADL低下リスク該当者	4.5%	+0.7
知的能動性の低下リスク該当者	17.5%	-0.8
社会的役割の低下リスク該当者	33.6%	-3.7
<b>●外出の状況</b>		
外出手段は徒歩	55.1%	-1.1
外出手段は自動車(自分で運転)	67.8%	+2.6
外出手段は自動車(人に乗せてもらう)	22.3%	-0.8
外出手段は電車	22.0%	-1.5
外出手段は路線バス	18.4%	+1.9
<b>●健康観や幸福感</b>		
主観的に健康状態が良いと感じている方	78.8%	+0.1
幸福感が高いと感じている方(10点満点で8点以上)	55.0%	+2.7
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない方	3.7%	-1.7
病気で寝込んだ時に看病や世話をしてくれる人がいない方	5.6%	-1.7
健康づくり等にきっかけがないという理由で取り組んでいない方	20.8%	-4.1

指標等項目	調査結果	市全域との差
趣味や生きがいとしていることがある方	71.2%	+1.0
地域づくり等の活動に参加者として参加したい方	44.4%	+1.7
地域づくり等の活動に企画・運営として参加したい方	25.7%	+3.2
友人の家を訪ねている方	44.4%	+4.1
誰かと食事を共にする機会がほとんどない方	6.8%	-1.6
ボランティアグループへ参加している方	12.1%	-0.7
スポーツ関係のグループやクラブへ参加している方	27.1%	+2.7
趣味関係のグループへ参加している方	28.2%	+1.0
学習・教養サークルへ参加している方	6.8%	-2.5
健康づくり・介護予防のための通いの場へ参加している方	11.9%	-0.9
いきいきクラブへ参加している方	11.8%	+2.9
町内会・自治会へ参加している方	26.9%	+3.5
収入のある仕事に従事している方	24.9%	+3.1
祭り・行事へ参加している方	27.1%	+4.0

## (2) 中部圏域 (刈谷南・刈谷東)

### ■圏域の状況

項目	中部圏域					市全域割合との差		
	各年 10月1日現在	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	
人口	52,252	52,469	52,016	52,708	52,905	-		
65歳以上人口	9,952	10,065	9,913	10,169	10,270	-		
高齢化率	19.0	19.2	19.1	19.3	19.4	-1.6(2025年時点)		
要介護等認定者	1,874人 (認定率 18.2%)					+0.7(認定率)		
令和8年3月31日現在	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	市全域割合との差
認定者 (人)	277	378	441	265	208	208	97	-
市全域の割合との差	-0.9	+1.5	+1.2	-0.0	-0.6	-0.7	-0.5	-
認知症高齢者 (令和8年3月31日現在)	1,048人 (10.2%)					+0.1		

※認定率は、認定者数(令和8年3月31日現在)÷高齢者数(令和7年10月1日現在)で算出しています。また、認定者、認知症高齢者には第2号被保険者が含まれます。そのため、認定率、認知症の割合、各数値の市全域割合との差は、参考値です。

### ■圏域の地域資源の状況 (令和8年(2026年)4月1日現在)

(単位：か所、カッコ内は定員数)

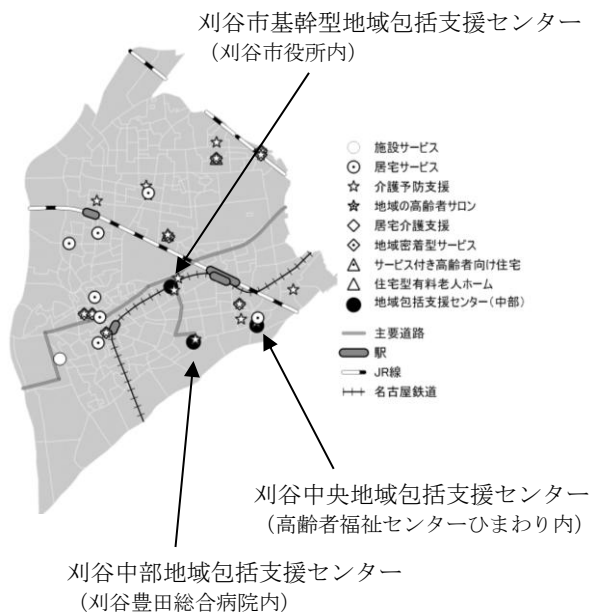
項目	中部圏域			項目	中部圏域		
		刈谷南	刈谷東			刈谷南	刈谷東
●居宅サービス	29	15	14	●地域密着型サービス	6	3	3
訪問介護	8	4	4	定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	0	0	0
訪問入浴介護	1	1	0	地域密着型通所介護	2	2	0
訪問看護	7	2	5	認知症対応型通所介護	0	0	0
訪問リハビリテーション	0	0	0	小規模多機能型居宅 介護	1	0	1
通所介護	5	3	2	認知症対応型共同生 活介護	3 (54)	1 (18)	2 (36)
通所リハビリテーション	0	0	0	地域密着型特定施設 入居者生活介護	0	0	0
短期入所生活介護	1	1	0	●施設サービス	1	1	0
短期入所療養介護	0	0	0	介護老人福祉施設	1 (120)	1 (120)	0
特定施設入居者生活 介護	1 (78)	0	1 (78)	介護老人保健施設	0	0	0
福祉用具貸与	3	2	1	●サービス付き 高齢者向け住宅	1 (28)	1 (28)	0
特定福祉用具販売	3	2	1	●地域の 高齢者サロン	54	31	23
●居宅介護支援	9	6	3	●地域包括支援セン ター	2	2	0
●介護予防支援	2	2	0				
●住宅型 有料老人ホーム	1 (42)	0	1 (42)				

■圏域の特徴

中部圏域では、人口は増減しながら推移しており、認定率は他の圏域と比べて最も高くなっています。

地域資源は、他の圏域と比べ少なくなっています。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果によると、外出手段が徒歩の割合が市全域に比べ高くなっています。また、友人の家を訪ねている割合が市全域と比べて低く、日頃からの人づきあいが比較的少ない可能性があります。



■圏域別介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

指標等項目	調査結果	市全域との差
<b>●高齢者像からみた地域分析</b>		
運動器機能の低下リスク該当者	11.3%	-1.6
転倒リスク該当者	35.5%	+3.1
閉じこもりリスク該当者	10.1%	-1.7
低栄養リスク該当者	2.3%	+0.6
口腔機能低下リスク該当者	26.6%	+3.6
物忘れリスク該当者	43.1%	+1.3
うつ傾向リスク該当者	36.1%	+0.5
IADL低下リスク該当者	2.9%	-0.9
知的能動性の低下リスク該当者	17.1%	-1.2
社会的役割の低下リスク該当者	36.7%	-0.6
<b>●外出の状況</b>		
外出手段は徒歩	62.1%	+5.9
外出手段は自動車(自分で運転)	66.2%	+1.0
外出手段は自動車(人に乗せてもらう)	24.3%	+1.2
外出手段は電車	27.5%	+4.0
外出手段は路線バス	15.9%	-0.6
<b>●健康観や幸福感</b>		
主観的に健康状態が良いと感じている方	80.1%	+1.4
幸福感が高いと感じている方(10点満点で8点以上)	51.5%	-0.8
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない方	7.2%	+1.8
病気で寝込んだ時に看病や世話をしてくれる人がいない方	8.1%	+0.8
健康づくり等にきっかけがないという理由で取り組んでいない方	25.0%	+0.1

指標等項目	調査結果	市全域との差
趣味や生きがいとしていることがある方	71.7%	+0.5
地域づくり等の活動に参加者として参加したい方	44.0%	+1.3
地域づくり等の活動に企画・運営として参加したい方	22.2%	-0.3
友人の家を訪ねている方	33.2%	-7.1
誰かと食事を共にする機会がほとんどない方	8.1%	-0.3
ボランティアグループへ参加している方	11.9%	-0.9
スポーツ関係のグループやクラブへ参加している方	23.7%	-0.7
趣味関係のグループへ参加している方	29.2%	+2.0
学習・教養サークルへ参加している方	9.5%	+0.2
健康づくり・介護予防のための通いの場へ参加している方	13.5%	+0.7
いきいきクラブへ参加している方	8.7%	-0.2
町内会・自治会へ参加している方	24.6%	+1.2
収入のある仕事に従事している方	22.6%	+0.8
祭り・行事へ参加している方	21.4%	-1.7

### (3) 南部圏域 (依佐美・朝日)

#### ■圏域の状況

項目	南部圏域					市全域割合との差	
	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		
各年10月1日現在							
人口	49,580	49,462	49,556	49,436	49,110	-	
65歳以上人口	10,887	10,898	10,847	10,956	10,999	-	
高齢化率	22.0	22.0	21.9	22.2	22.4	+1.4(2025年時点)	
要介護等認定者	1,827人 (認定率 16.6%)					-1.0(認定率)	
令和8年3月31日現在							
要支援1	270	346	382	269	212	市全域割合との差	
要支援2							
要介護1							
要介護2							
要介護3							
要介護4							
要介護5							
認定者(人)	270	346	382	269	212	-	
市全域の割合との差	-0.9	+0.2	-1.4	+0.6	-0.1	+1.1	+0.5
認知症高齢者(令和8年3月31日現在)	977人 (8.9%)					-1.2	

※認定率は、認定者数(令和8年3月31日現在)÷高齢者数(令和7年10月1日現在)で算出しています。また、認定者、認知症高齢者には第2号被保険者が含まれます。そのため、認定率、認知症の割合、各数値の市全域割合との差は、参考値です。

#### ■圏域の地域資源の状況(令和8年(2026年)4月1日現在)

(単位:か所、カッコ内は定員数)

項目	南部圏域		
	依佐美	朝日	
●居宅サービス	41	30	11
訪問介護	13	9	4
訪問入浴介護	1	0	1
訪問看護	8	5	3
訪問リハビリテーション	1	1	0
通所介護	11	8	3
通所リハビリテーション	1	1	0
短期入所生活介護	2	2	0
短期入所療養介護	1	1	0
特定施設入居者生活介護	1 (30)	1 (30)	0
福祉用具貸与	1	1	0
特定福祉用具販売	1	1	0
●居宅介護支援	13	8	5
●介護予防支援	2	1	1
●住宅型有料老人ホーム	12 (447)	10 (359)	2 (88)

項目	南部圏域		
	依佐美	朝日	
●地域密着型サービス	12	10	2
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	1	0
地域密着型通所介護	4	4	0
認知症対応型通所介護	2	1	1
小規模多機能型居宅介護	1	1	0
認知症対応型共同生活介護	3 (54)	2 (36)	1 (18)
地域密着型特定施設入居者生活介護	1 (20)	1 (20)	0
●施設サービス	2	2	0
介護老人福祉施設	1 (160)	1 (160)	0
介護老人保健施設	1 (100)	1 (100)	0
●サービス付き高齢者向け住宅	3 (169)	2 (134)	1 (35)
●地域の高齢者サロン	56	23	33
●地域包括支援センター	2	1	1

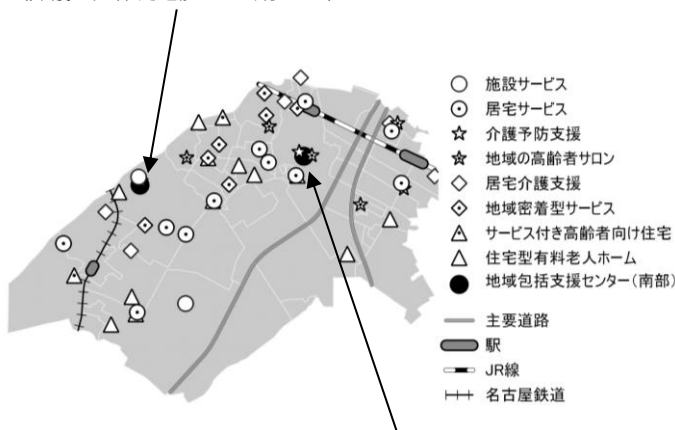
■圏域の特徴

南部圏域は、人口は横ばいで推移しており、高齢化率が最も高くなっています。

地域資源は、全てのサービス項目が存在し、他の圏域と比べサービスが充実しています。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果によると、自動車への依存度が高くなっています。また、友人との付き合い、ボランティアなどへの参加割合が高く、人付き合いは比較的多いことがうかがえます。

刈谷依佐美地域包括支援センター  
(介護老人保健施設かりや敷地内)



刈谷朝日地域包括支援センター  
(南部福祉センターたんぼぼ内)

■圏域別介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

指標等項目	調査結果	市全域との差
<b>●高齢者像からみた地域分析</b>		
運動器機能の低下リスク該当者	11.3%	-1.6
転倒リスク該当者	30.4%	-2.0
閉じこもりリスク該当者	11.3%	-0.5
低栄養リスク該当者	2.4%	+0.7
口腔機能低下リスク該当者	19.9%	-3.1
物忘れリスク該当者	40.6%	-1.2
うつ傾向リスク該当者	33.1%	-2.5
IADL低下リスク該当者	3.2%	-0.6
知的能動性の低下リスク該当者	15.6%	-2.7
社会的役割の低下リスク該当者	36.0%	-1.3
<b>●外出の状況</b>		
外出手段は徒歩	54.0%	-2.2
外出手段は自動車(自分で運転)	70.4%	+5.2
外出手段は自動車(人に乗せてもらう)	25.0%	+1.9
外出手段は電車	21.5%	-2.0
外出手段は路線バス	14.2%	-2.3
<b>●健康観や幸福感</b>		
主観的に健康状態が良いと感じている方	80.7%	+2.0
幸福感が高いと感じている方(10点満点で8点以上)	54.8%	+2.5
心配事や愚痴を聞いてくれる人がいない方	3.5%	-1.9
病気で寝込んだ時に看病や世話をしてくれる人がいない方	4.0%	-3.3
健康づくり等にきっかけがないという理由で取り組んでいない方	25.8%	+0.9

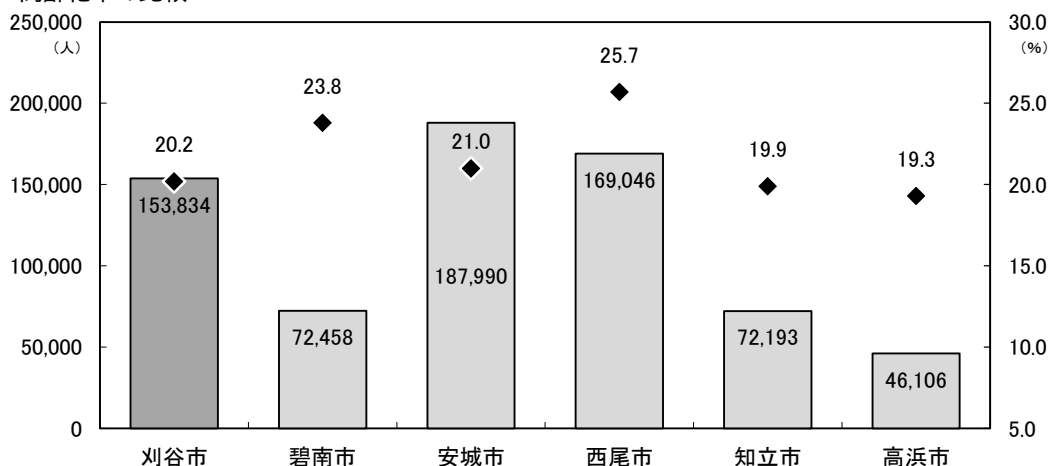
指標等項目	調査結果	市全域との差
趣味や生きがいとしていることがある方	68.5%	-1.7
地域づくり等の活動に参加者として参加したい方	42.0%	-0.7
地域づくり等の活動に企画・運営として参加したい方	21.2%	-1.3
友人の家を訪ねている方	44.9%	+4.6
誰かと食事を共にする機会がほとんどない方	5.9%	-2.5
ボランティアグループへ参加している方	17.2%	+4.4
スポーツ関係のグループやクラブへ参加している方	26.9%	+2.5
趣味関係のグループへ参加している方	27.4%	+0.2
学習・教養サークルへ参加している方	12.7%	+3.4
健康づくり・介護予防のための通いの場へ参加している方	14.2%	+1.4
いきいきクラブへ参加している方	8.9%	0.0
町内会・自治会へ参加している方	23.7%	+0.3
収入のある仕事に従事している方	19.6%	-2.2
祭り・行事へ参加している方	25.0%	+1.9

## 4 他市との比較

### (1) 人口の状況

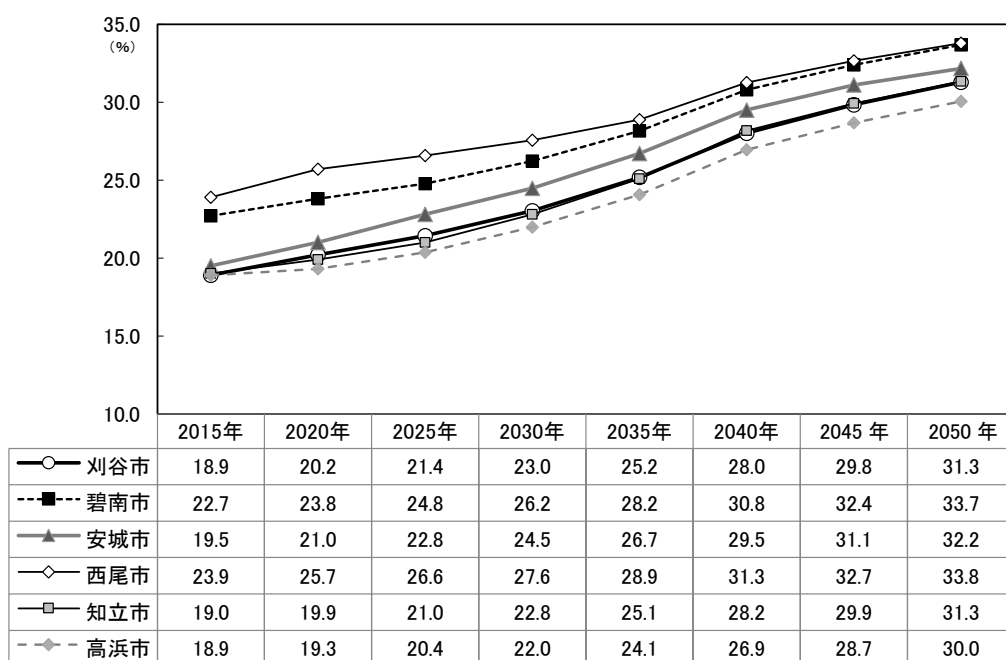
愛知県の老人福祉圏域で設定されている西三河南部西圏域の自治体（碧南市、安城市、西尾市、知立市、高浜市）と比較すると、本市の高齢化率は高浜市、知立市に次いで圏域内で低くなっています。令和32年（2050年）までの高齢化率の推移では、現在高齢化が進んでいる西尾市以外は令和2年（2020年）と比べて10ポイント前後の増加が見込まれます。

■総人口・高齢化率の比較



※高齢化率の算出には分母に年齢不詳人口を含みます。  
資料：令和2年（2020年）「国勢調査」

■高齢化率の推移・推計比較



※高齢化率の算出には分母に年齢不詳人口を含みます。

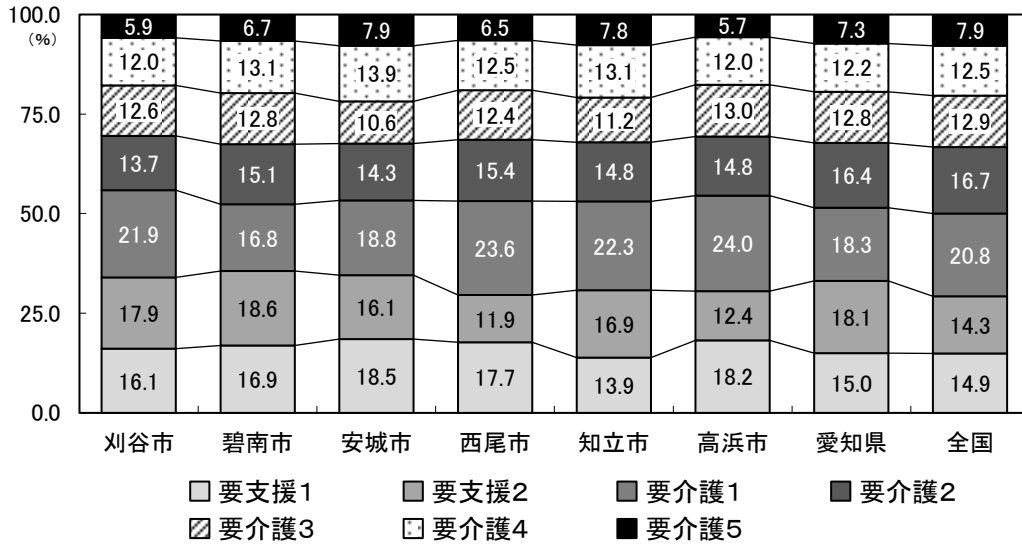
資料：令和2年（2020年）までは「国勢調査」、令和7年（2025年）以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

## (2) 認定者の状況

令和7年(2025年)11月末時点の要支援・要介護認定者の割合を西三河南部西圏域の自治体及び全国平均、愛知県平均と比較すると、本市は要介護1までの軽度者の割合が高くなっています。

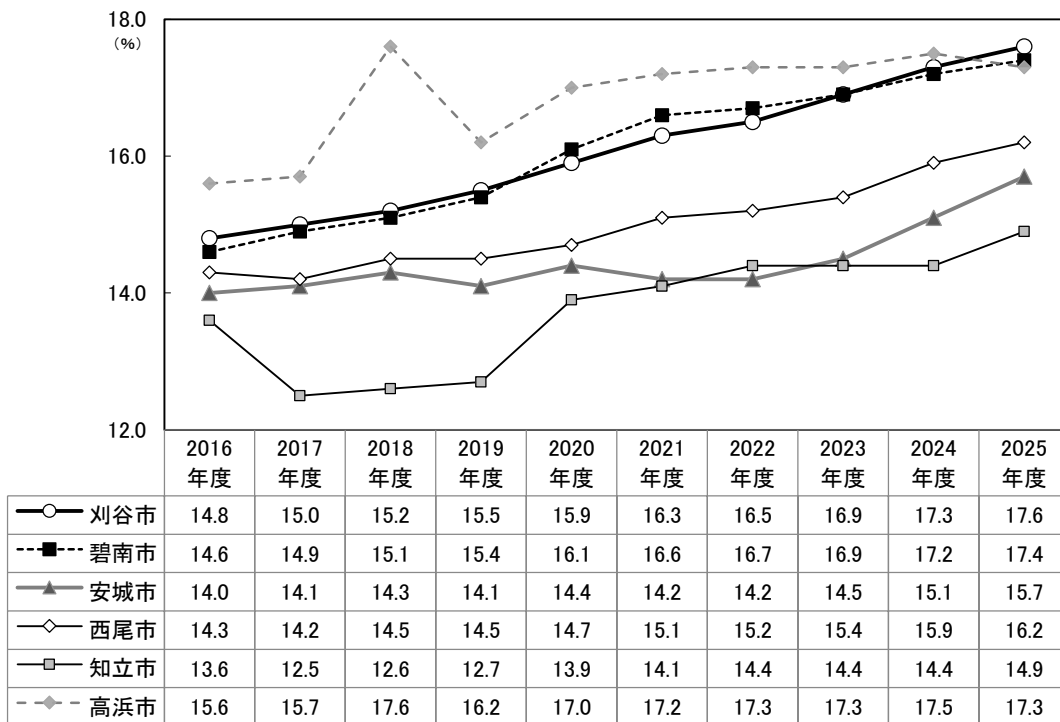
また、認定率の推移を比較すると、本市は平成28年度(2016年度)以降上昇しており、令和7年(2025年)11月末時点において西三河南部西圏域で最も高い17.6%となっています。

### ■要支援・要介護認定者割合の比較



資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告(令和7年(2025年)11月月報)」

### ■認定率の推移比較

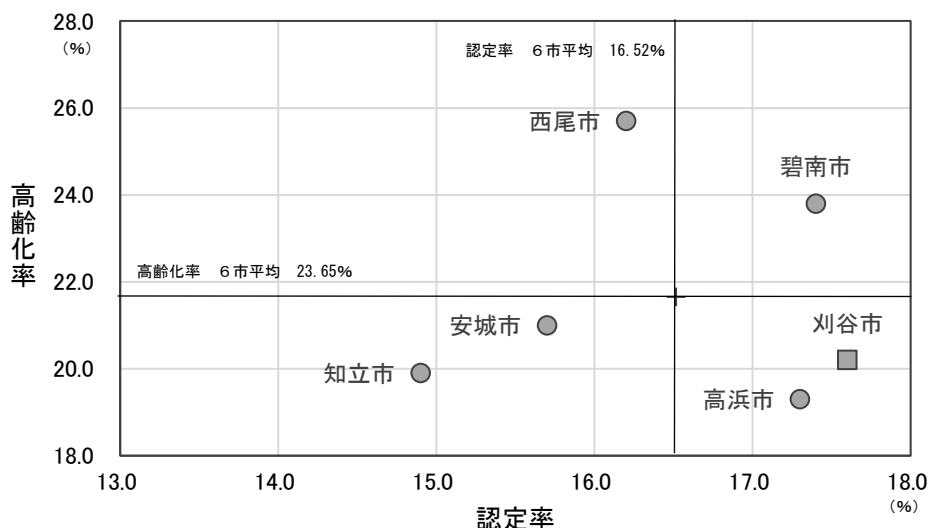


資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」、令和6年度(2024年度)は「介護保険事業状況報告(3月月報)」、令和7年(2025年)は「介護保険事業状況報告(11月月報)」

本市の高齢化率と認定率の分布を西三河南部西圏域の自治体と比較すると、高齢化率は低いものの、認定率は6市中最も高い位置にあります。

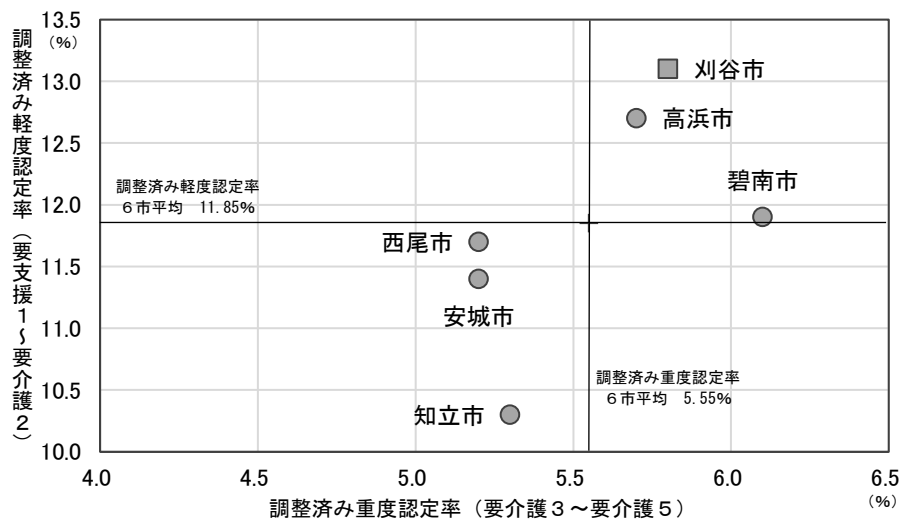
本市の調整済み軽度・重度認定率※を比較すると、軽度（要支援1～要介護2）・重度（要介護3～5）ともに6市平均よりも高くなっており、軽度・重度認定率いずれも高い傾向にあります。

■高齢化率と認定率の分布



資料：高齢化率は令和2年（2020年）「国勢調査」  
認定率は令和7年（2025年）厚生労働省「介護保険事業状況報告（11月月報）」

■調整済み軽度・重度認定率の分布



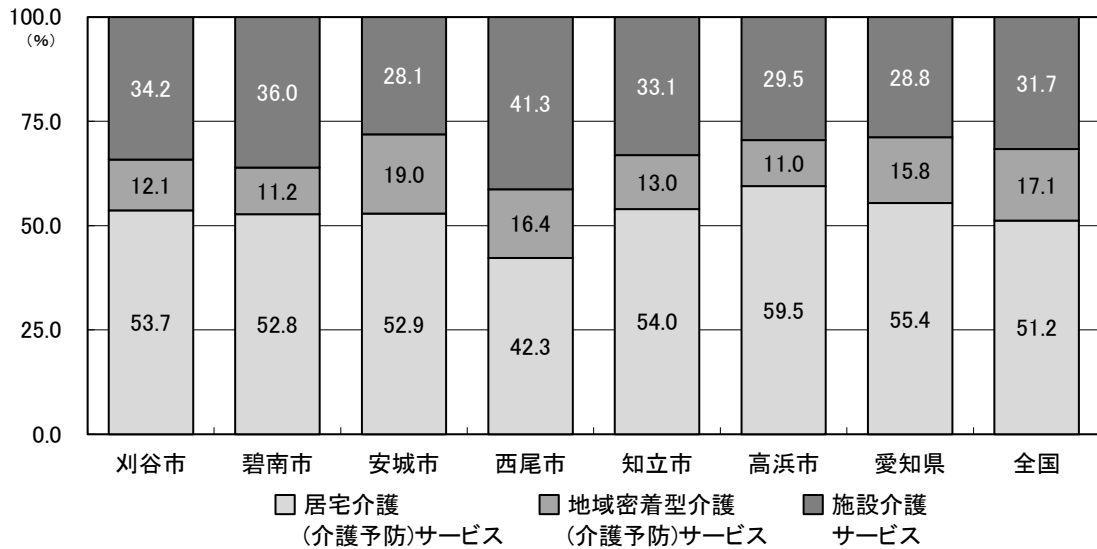
※調整済み軽度・重度認定率…認定率の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率を意味します。  
資料：令和7年度（2025年度）厚生労働省「介護保険事業状況報告（11月月報）」及び総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

### (3) 介護保険サービスの利用状況

令和5年度（2023年度）の総給付費に占める各サービスの割合を西三河南部西圏域の自治体及び全国平均、愛知県平均と比較すると、本市では居宅介護（介護予防）サービスや施設介護サービスの割合がやや高く、地域密着型介護（介護予防）サービスの割合は低くなっています。

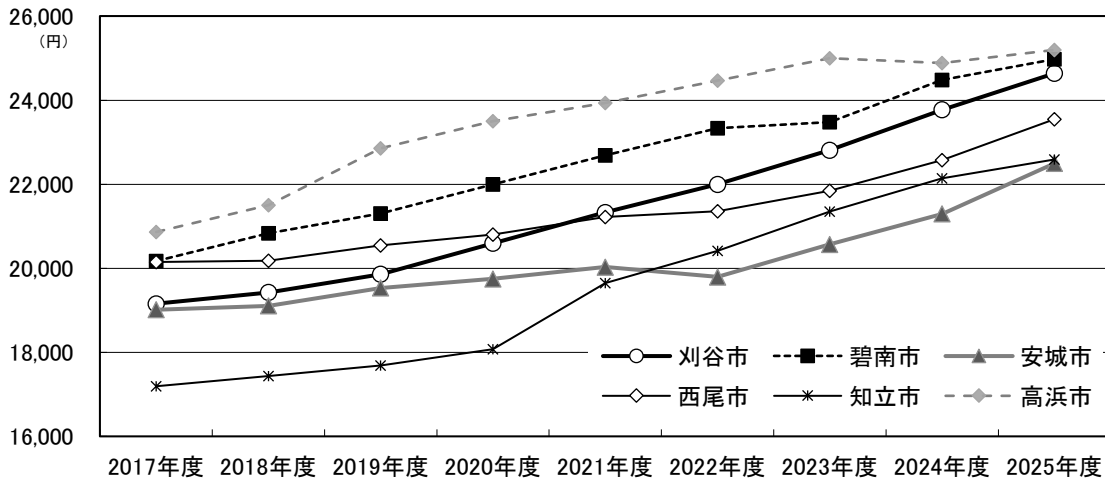
第1号被保険者1人1月あたり費用額を西三河南部西圏域の自治体と比較すると、本市は令和3年度（2021年度）以降、高浜市、碧南市に次いで高くなっています。

■総給付費に占める各サービスの割合の比較



資料：令和5年度（2023年度）厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」

■第1号被保険者1人1月あたり費用額の推移比較

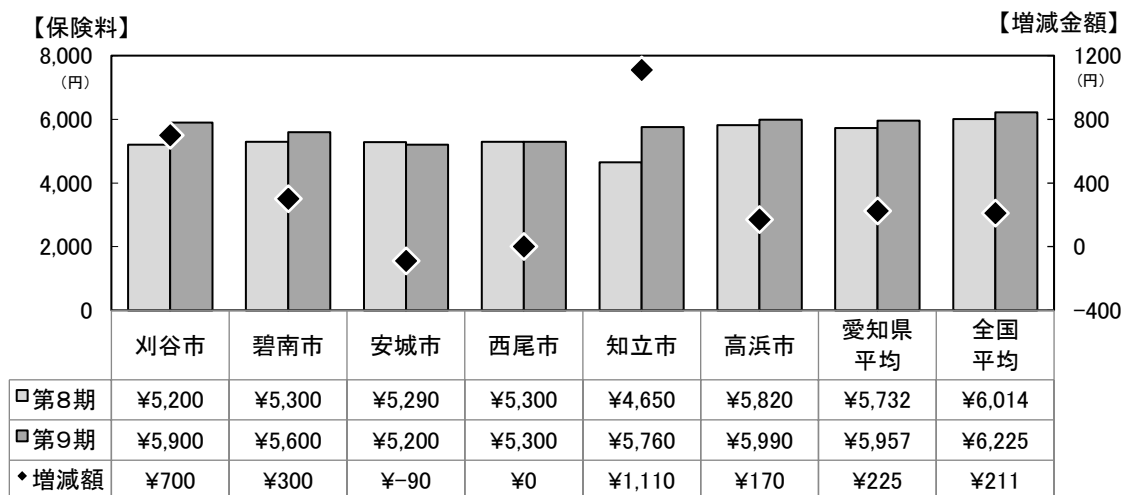


資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和6年度（2024年度）は「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計、令和7年度（2025年度）は「介護保険事業状況報告（月報）」の令和7年9月サービス提供分までの累計

## (4) 保険料の状況

保険料を西三河南部西圏域の自治体と比較すると、本市は圏域内で高浜市に次いで2番目に高くなっており、愛知県平均を57円、全国平均を325円、それぞれ下回っています。

### ■保険料の比較及び増減比較



### <参考> 類似団体※の保険料

都道府県名	保険者名	第8期保険料 基準額(月額)	第9期保険料 基準額(月額)	保険料基準額の 伸び率	要介護認定率*
茨城県	日立市	5,150	5,150	0.0%	17.2%
茨城県	ひたちなか市	5,500	6,000	9.1%	16.5%
栃木県	足利市	5,550	5,850	5.4%	17.3%
栃木県	栃木市	5,998	5,927	-1.2%	16.1%
栃木県	小山市	5,741	5,463	-4.8%	15.2%
千葉県	市原市	5,690	6,102	7.2%	17.6%
富山県	高岡市	6,494	6,494	0.0%	21.0%
長野県	上田市	5,902	5,902	0.0%	19.3%
岐阜県	大垣市	5,960	6,340	6.4%	17.6%
静岡県	磐田市	5,100	5,600	9.8%	15.8%
愛知県	刈谷市	5,200	5,900	13.5%	16.9%
愛知県	安城市	5,290	5,200	-1.7%	14.6%
愛知県	西尾市	5,300	5,300	0.0%	15.5%
愛知県	小牧市	4,309	4,906	13.9%	14.7%
愛知県	東三河広域連合	4,990	4,930	-1.2%	16.1%
三重県	松阪市	6,730	6,980	3.7%	22.9%
三重県	鈴鹿亀山地区広域連合	5,781	6,255	8.2%	17.4%
島根県	出雲市	6,260	6,260	0.0%	20.6%
広島県	東広島市	5,700	5,400	-5.3%	16.4%
愛媛県	今治市	6,137	6,137	0.0%	21.3%

※類似団体…人口規模や産業構造等が類似している保険者

\*：令和5年（2023年）12月末時点。

資料：厚生労働省「第9期各保険者保険料基準額一覧」